

11月4日(金)午前10時

全国瞬時警報システムの試験放送と一斉地震防災訓練を実施します

問い合わせ 総務課 ☎2119

全国瞬時警報システム試験放送

大地震や津波情報、弾道ミサイル情報などの緊急を要する情報を、国が人工衛星を通じて各市町の防災行政無線を自動起動させ、瞬時に伝達する全国瞬時警報システム（Jアラート）の試験放送が実施されます。市でも防災行政無線による一斉試験放送と大竹市防災情報等メールサービスによる情報伝達試験を実施します。

※ 災害の発生や気象状況などによっては、一斉試験放送と大竹市防災情報等メールサービスの配信・一斉地震防災訓練を中止する場合があります。

放送内容（予定）

上りチャイム音→「こちらは防災大竹市役所です。ただいまから訓練放送を行います。」→緊急地震速報チャイム音→「緊急地震速報。大地震です。これは訓練放送です。」（3回繰り返し）→「こちらは防災大竹市役所です。これで試験放送を終わります。」→下りチャイム音



一斉地震防災訓練

全国瞬時警報システムの試験放送と併せて、県が一斉地震防災訓練を実施します。この訓練は、地震発生時に直ちに身の安全を守る行動がとれるように「安全行動1-2-3」を行うものです。1~3分程度で実施できる訓練です。気軽に参加しましょう。

安全行動1-2-3とは

大地震のとき、何よりも大切なことは自分自身の体を守ることです。「安全行動1-2-3」は、地震から身を守るための行動です。

- (1)姿勢を低くして（しゃがむ）
- (2)体や頭を守って（かくれる）
- (3)揺れが収まるまでじっとする（まつ）



一斉地震防災訓練の参加方法

訓練の参加方法は、県ホームページをご覧ください。（「一斉地震防災訓練広島」で検索）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/249/issseijisin.html>

コミュニティ助成事業

防災備品を整備しました

問い合わせ 総務課 ☎2119

白石一丁目自主防災会が、宝くじを財源とする平成28年度コミュニティ助成事業の採択を受け、防災備品

（防災倉庫、炊出し釜、リヤカー）を整備し、地域の自主防災力を強化しました。

リヤカー

災害時の負傷者運搬に使用します。



防災倉庫

地域の防災資機材を一元化します。



炊出し釜

災害時に地域で食料をまかないます。

